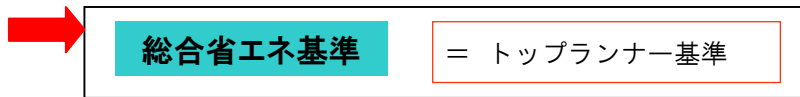




- 総合省エネ基準に適合している場合、住宅省エネラベル適合性判定は、左図のように「総合省エネ基準」の表示をすることができます。  
(「断熱性能基準」については表示ができません。表示したい場合には別途、次世代省エネ基準についても満足する必要があります。)

技術基準の整理と注意点については、以下をご確認ください。



## 総合省エネ基準 = トップランナー基準

1. 「算定用プログラム」において、断熱性能と設備機器の算定をし、基準達成率を100%以上とする。

### 省エネの新基準

住宅事業建築主の判断基準は、建て売り住宅向けの省エネに関する新基準です。



財団法人 建築環境・省エネルギー機構ホームページより掲載

2. 「設計内容説明書 (総合省エネ基準)」の断熱性能区分は、「算定用プログラム」の断熱性能の区分を選択する。

### 算定用プログラム

財団法人 建築環境・省エネルギー機構ホームページより掲載

断熱	暖房	冷房	換気	給湯	照明
構造の種類	<input type="radio"/> 木造(軸組構法) <input type="radio"/> 木造(枠組壁工法) <input type="radio"/> RC造 <input type="radio"/> S造(外張・内張断熱工法) <input type="radio"/> S造(外張・内張断熱工法以外の)				
入力方法の選択	<input type="radio"/> Q値(熱損失係数)を入力する <input type="radio"/> U値(熱貫流率)を入力する(床断) <input checked="" type="radio"/> 断熱材のR値(熱抵抗値)を入力 <input type="radio"/> 断熱性能の区分を選択する				

CHECK

### 設計内容説明書 (総合省エネ基準)

ハウスプラス住宅保証(株) ホームページよりダウンロード可能

断熱性能区分等	
<input type="checkbox"/> 等級3相当(省エネ対策等級3とは異なります)	
<input checked="" type="checkbox"/> 等級4相当 このシートでなく(総合省エネ基準+断熱性能基準)の	
<input type="checkbox"/> (ア)	
<input type="checkbox"/> (イ) ( ) ← 強	
<input type="checkbox"/> (ウ)	
<input type="checkbox"/> (エ) ( ) ← 強	
<input type="checkbox"/> (オ) ( ) ← 強	
<input type="checkbox"/> 算定用プログラム Q値(熱損失係数)入力	
<input type="checkbox"/> 算定用プログラム U値(熱貫流率)入力 / 開口部 U値	
<input type="checkbox"/> 算定用プログラム R値(熱抵抗値)入力 / 開口部 U値	

CHECK

いずれか一つを選択

総合省エネ基準において、次世代省エネ基準で定められている緩和規定を使うことはできませんのでご注意ください。

(緩和規定：2%緩和、4%緩和、断熱抵抗値の緩和規定)

ただし、品確法に基づく省エネルギー対策等級の等級3(結露防止対策、開口部の日射遮蔽対策を含む)の場合には、緩和規定を適用することができます。この場合、専用の設計内容説明書での申請が必要です。別途お問い合わせください。